

平成24年度 第5回 府中市男女共同参画推進懇談会 議事録

I 日 時 平成24年12月21日（金）午前10時～12時

II 場 所 女性センター 学習室

III 出 席

(i) 委 員

小西会長、諸橋副会長、阿部委員、大渡委員、河野委員、日並委員、藤岡委員、
三池委員、和田委員、岡田委員、鈴木委員

(ii) 事務局

岩田市民活動支援課男女共同参画担当副主幹
肥後男女共同参画推進係長兼府中市女性センター所長、鬼頭事務職員

IV 欠 席

並木委員

V 傍聴者

1名

VI 会議内容

1 開会

2 前回の議事録確認

異議なく承認された。

3 配布資料の確認

資料1 第5期府中市男女共同参画推進懇談会報告書

「府中市女性センターの事業計画および運営のあり方について」

資料2 第5期府中市男女共同参画推進懇談会報告書

「その他の男女共同参画まちづくりに必要な事柄について」

資料3 府中市避難所管理運営マニュアル策定ガイドライン

資料4 府中市防災計画 質問・提案シート

・平成24年度 男女雇用平等セミナー

「男女がともに働き続けるための法律と年金・雇用保険・社会保険」のチラシ

・女性センター登録団体共催講座

「E x c e l 2 0 1 0の基礎を学ぶ」のチラシ

・府中市男女共同参画市民企画講座

「「福祉の府中」をつくった女性たち」のチラシ

・女性センター主催 女性のための起業講座

「今後1年やることが見える！身近に感じる起業準備講座」のチラシ

4 報告事項

12月1日・2日第26回男女共同参画推進フォーラムが開かれ、参加人数は昨年

より多い700名となった。2日の基調講演には委員の方々にも参加していただいた。

5 協議事項

(1) 第三者評価の検討

ア 平成23年度府中市男女共同参画推進状況評価報告書第三者評価について

前回に引き続き、第三者評価の内容について、項目評価に付けた点数と総合評価の採点が妥当かどうかの確認を行った。(資料は、第4回資料1をそのまま使った。)また、総合評価の判定理由と総合評価、改善策の提言の内容についても齟齬がないか、確認を行った。

主な意見は次のとおり。

項目番号	意見
005	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域安全リーダー講習会の日程について、「女性も参加しやすい日時に配慮して」とあるが、土日に講習会を開くのは男性が出やすい日程であり、結果として女性は出にくくなる。男性が子どもなどの面倒を見て、女性を送りだせればよいが、実際は女性が男性を送り出してしまう。 ・ 地域安全の講習会はやる気のある人なら、男女を問わなくても良く、女性に特化しなくても良いのでは、と考える。
019	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改善策の提言について、「落とし込む」と記載があるが、「反映させる」の方がわかりやすい。
028	<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発活動の充実「改善策等の提言」の中で。「市として主体的に担える部分」と記載している。これは、労働行政は国や都が主体となっており、市ではなかなか取り組めるレベルではない。例えば、都が講座などを企画して、それに市が共催という形になっている例が多く、市が主体的に講座を企画、立案することがないという実態がある。そのため、役割分担上、市は、都と共催という形を取った上で広報活動のような、担える部分を取り組んでほしい意味を込めてこのような表現にした。 市には、パンフレット配布などを依頼するなど、市民に様々な形で積極的な普及啓発を行ってもらっているが、講座等があるときのタイミングをうまく図る等の連携が取れば良いと考え、このような表現にした。
028 ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワーク・ライフ・バランスの普及啓発を行うため、女性センターで行っている事業だが、改善策の提言等が少ないと思われる。事業としては継続して欲しい。提言をもう少し増やしたい。

項目番号	意見
032	<ul style="list-style-type: none"> • 032について、保育所の待機児童が300人前後いる。待機児童を減らすために、保育活動に従事した人や定年退職された方を再雇用する等の対応はとれないか。保育ママのような制度についても、もっと市の方で啓発し人数を増やすようにしたら良い。 • 「個人的な施設の運営者と企業との連携を増やす」と改善策に追加したい。
036	<ul style="list-style-type: none"> • 「認可保育所入所定員は増加しているが、その増加分と待機児童数を合計すると、入所希望者が増加していることがわかる。待機児童がいまだ大勢いることから待機児童の解消は十分に図れていないため、」と補足訂正させてほしい。 • 待機児童の人数的な増減の問題より、待機児童がいることが問題。女性が子供を安心して出産できないのは、家庭の問題と言われているが、実際は国の問題であり、女性が働けなくなるとか女性が育児をしたがらないから等と、女性を責める傾向があるが、男性の問題でもあると考える。
058	<ul style="list-style-type: none"> • 都より「DV対策基本計画」を自治体で策定するようとの指示が出ているので、「まちづくり」の中に提案したいと考えているが、ここの改善策等の提言にも入れていきたい。 • DVの被害者のことばかり話題になるが、加害者についても対応を取らなければならない。カードを配る等は対処療法で、みんながDVについて理解を深めることが必要である。 • 「B」だと計画が進展しているとなるので、「C」の現状維持に変更する。
068 ①	<ul style="list-style-type: none"> • 改善策の中で、「女性の健康」の啓発とあるが、健康講座としての事業ではなく、健康増進としての事業なので、講座の内容そのものを見直しをしていく必要がある。
069	<ul style="list-style-type: none"> • 子宮がん予防のワクチンについても無料化を進めていくことを要望したい。乳がんなどは、20代から出ているのに、クーポンは40代から。改善策として、「若年層にも年齢幅を広げる」ということを提言したい。 クーポン券による受診者数は増えているものの、対象年齢層が限定されているので、「C」の評価として、改善策に対象年齢層の拡大を求めたい。 • がんの発生は生活習慣も影響している。検診をするだけでなく、生活習慣病についての知識を啓蒙する講座なども実施することを要望したい。 • 項目評価基準の点数が前年より下がっているので、「C」の評価に訂正したい。

項目番号	意見
077	<ul style="list-style-type: none"> ・ 府中市の市立の小中学校33校全てで事業が実施されているのに、項目評価基準の「(d) 適切な数値目標が提示されているか」で、2点しかつかないのは、どうか。 ・ 目標の立て方がおかしくないだろうか。全校で実施したということより、内容についてどのように考えるかが問題なのではないだろうか。 ・ 担当課が記載している内容が少なく、記載内容も数値目標として適切か疑問。数値目標としてあげている府中市立小中学校全てで、今後も継続して、本事業を実施するというのであれば、評価基準の点数を変更しても良いと考える。

(2) 第4次府中市男女共同参画計画の見直しについて

本件についてはコメントの記述を元に、起草委員会で原案を作成し、1月の推進懇談会で検討することが、小西会長より提案があり、承認された。

起草委員には、小西会長、諸橋副会長、阿部委員、藤岡委員、和田委員で構成し、25年1月15日に委員会を実施することとなった。

(3) 府中市女性センターの事業計画及び運営のあり方について

(4) その他男女共同参画のまちづくりに必要な事柄について

小西会長より、第5期（前期）府中市男女共同参画推進懇談会報告書「府中市女性センターの事業計画および運営のあり方について」（資料1）「その他の男女共同参画まちづくりに必要な事柄について」（資料2）の説明がある。

第6期としてどのような提案をするか、提案のある委員は、平成25年1月10日までに事務局まで届け出ることとなった。

その案を元に、事務局で叩き台を作成し、次回の推進懇談会で検討することとなった。

(5) 府中市防災計画の意見交換について

府中市避難所管理運営マニュアル策定ガイドライン（資料3）、府中市防災計画質問・提案シート（資料4）の説明を肥後所長より行う。次回の推進懇談会にて防災課の職員が立ち会い、質問、提案を受けるが、あらかじめその内容を事務局でまとめ、防災課に事前に伝えることとなった。

防災課に質問、提案があれば、質問・提案シートに記載し、平成25年1月11日までに事務局に提出するよう依頼があった。なお、シートは発災から24時間までとそれ以降について分けて記載するようになっている旨の説明も行われた。

(6) その他

ア 次回会議日程について

平成25年1月25日（金）午後1時半より 第1会議室にて

6 閉会